

# 地域貢献で意識を変エシカル！

フェアトレード

環境保全

地産地消

## 愛知県立南陽高等学校 (Nanyo Company部)

所在地：愛知県名古屋市港区大西2丁目99  
沿革：昭和48年4月開校。(当該活動の開始時期 平成22年度～)  
学科：総合学科  
生徒数：1年 2名/2年 6名/ 3年 4名/合計12名  
(Nanyo Company部:平成30年7月1日現在)

### ○事業・活動の概要

愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部は、平成22年9月に新設され、雑貨や食品などの企画・製造・販売などを通じて、地域貢献につながる活動を行っている。

フェアトレードの講義を受けたことで部員たちの国際貢献に対する関心が高まり、バングラデシュの孤児院の子どもたちへクリスマスプレゼントを贈ったことが契機となり、以来、「フェアトレード」や「カーボン・オフセット」、「COOL CHOICE」の普及・啓発活動にも積極的に取り組んでいる。

### ○地域貢献につながる商品開発

Nanyo Company部では、企画ごとに「地産地消」や「フェアトレード」などのテーマを設定した上で商品の開発を進めており、開発した商品にはカーボン・オフセットを導入することで、温室効果ガスの削減に努めている。

地元企業と協力して商品化したキリマンジャロとメキシコマヤビニックのオリジナルフェアトレードコーヒーは、部員たちが何度も試作を重ねながら味とパッケージを企画した。キリマンジャロには、日本で初めてタンザニアのルカニ村から輸入したコーヒー豆を使用している。

また、学校近くの藤前干潟とフィリピンのオランゴ島が渡り鳥の移動経路としてつながっていることを知り、フィリピンのNGOとフェアトレード企画を立ち上げ、ヤシ殻を使って渡り鳥をモチーフとした「ココキーホルダー」を製作した。フィリピンのヤシ生産者の収入につながるほか、不法投棄や漂着ゴミの蓄積により訪れる渡り鳥が減っている藤前干潟の現状を、商品販売時にチラシなどで消費者に伝えるとともに、収益金の一部をオランゴ島のマングローブ植林活動に寄付するなど、環境保全にも貢献している。

平成30年3月には、岐阜県の農家で収穫された規格外のふじりんごを使用したドライフルーツ「やわらかドライりんご」を商品化し、地元企業が調整役となり東海3県(愛知県・三重県・岐阜県)で販売している。地産地消の商品であることに加え、カーボン・オフセットの導入や、「COOL CHOICE」マークを貼付するなど、環境にも配慮した商品となっている。

### ○「COOL CHOICE」の普及

「COOL CHOICE」とは、2030年度の日本における温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減する目標を達成するため、省エネ・低炭素型の製品、サービス、行動など、温暖化対策に向けた「賢い選択」を促す国民運動である。

Nanyo Company部は、平成29年8月に賛同登録し、販売商品に「COOL CHOICE」のマークを付けることで、環境によい商品の購入を促すための普及・啓発活動を行っている。

また、従来のプラスチック製容器から、どうもろこしで作られた生分解の容器に変更することにより、1つ当たり28.6kgもの温室効果ガス発生量を抑制することができる商品「COOL CHOICE わらびもち」を商品化した。

こうした取組は全国的にも大いに評価されており、平成29年度には、環境省が「COOL CHOICE」に率先して取り組んでいる個人や団体等を募集し、その中から優秀な取組を表彰する「COOL CHOICE LEADERS AWARD」において、500以上の応募の中から、高等学校としては初めて「爆笑問題 太田賞」を受賞した。

### ○今後の活動

商品開発に当たり、容器のサイズや金額設定で部員同士の意見が分かれることもあったが、地域や環境に配慮した商品を毎年コンスタントに開発し、イベントを通じて取組を発信することで、地域への貢献を続けている。

今後も、フェアトレードやカーボン・オフセットなどの地域貢献につながる活動を続け、地域に喜んでもらえるような取組を続けていく予定である。



公表日：平成30年10月22日 取材：平成30年7月「エシカル消費自治体サミット(徳島県主催)」にて  
外部リンク：<http://www.nanyo-h.aichi-c.ed.jp/>